

|  |                        |  |
|--|------------------------|--|
|  | <h1>3年 数学研究 (I A)</h1> |  |
|--|------------------------|--|

| 教科 | 科目名        | 単位数 | 学年・コース   | 教科書名           | 副教材                            |
|----|------------|-----|----------|----------------|--------------------------------|
| 数学 | 数学研究 (I A) | 2   | 3年<br>文系 | 数学 A<br>(数研出版) | 改訂版 リンク数学演習 I・A シリーズ<br>(数研出版) |

|               |  |
|---------------|--|
| 学習目標          | 問題演習を多くこなし、数学的に考察し処理する能力を伸ばす。大学入試に対応できる実力をつける。   |
| 学習の進め方        | まずは数学 A【整数の性質】を学習し、その後各単元の基礎をしっかりと復習しながら応用・発展問題へと進みます。さらに、入試問題や入試問題の類題を用いて数学 I・A の総合問題演習を行います。                               |
| 評価対象・方法       | 評価対象は定期試験を中心として、小テストや宿題への取り組みなどすべての内容を含みます。評価は相対評価を加味した絶対評価となります。  |
| 受講に向けての心構えと準備 | 実際の入試では分野がはっきりと分かれている訳ではありません。総合問題演習を通じて受験に対応できる技術を身につけましょう。解けない問題は解説を見て確認した後、必ずもう一度自分で解くことが大切です。わからない問題があれば積極的に質問して解決しましょう。 |

|     | 学習事項                                  | 学習内容  | 備考 |
|-----|---------------------------------------|---|----|
| 一学期 | 大学入試対策総合問題演習のため特に、進捗表（シラバス）という形はとらない。 | 数学 A【整数の性質】を教科書、問題集を使いながら学習する。<br>その後は各単元の基本事項の確認、例題、類題、応用問題という流れで問題演習を行い、問題を解く技術を身につける。<br>総合問題に取り組み、入試に対応できる実力を身につける。 |    |
|     | 中間試験                                  |   |    |
|     | 期末試験                                  |   |    |
| 二学期 |                                       |   |    |
|     | 中間試験                                  |   |    |
|     | 期末試験                                  |   |    |